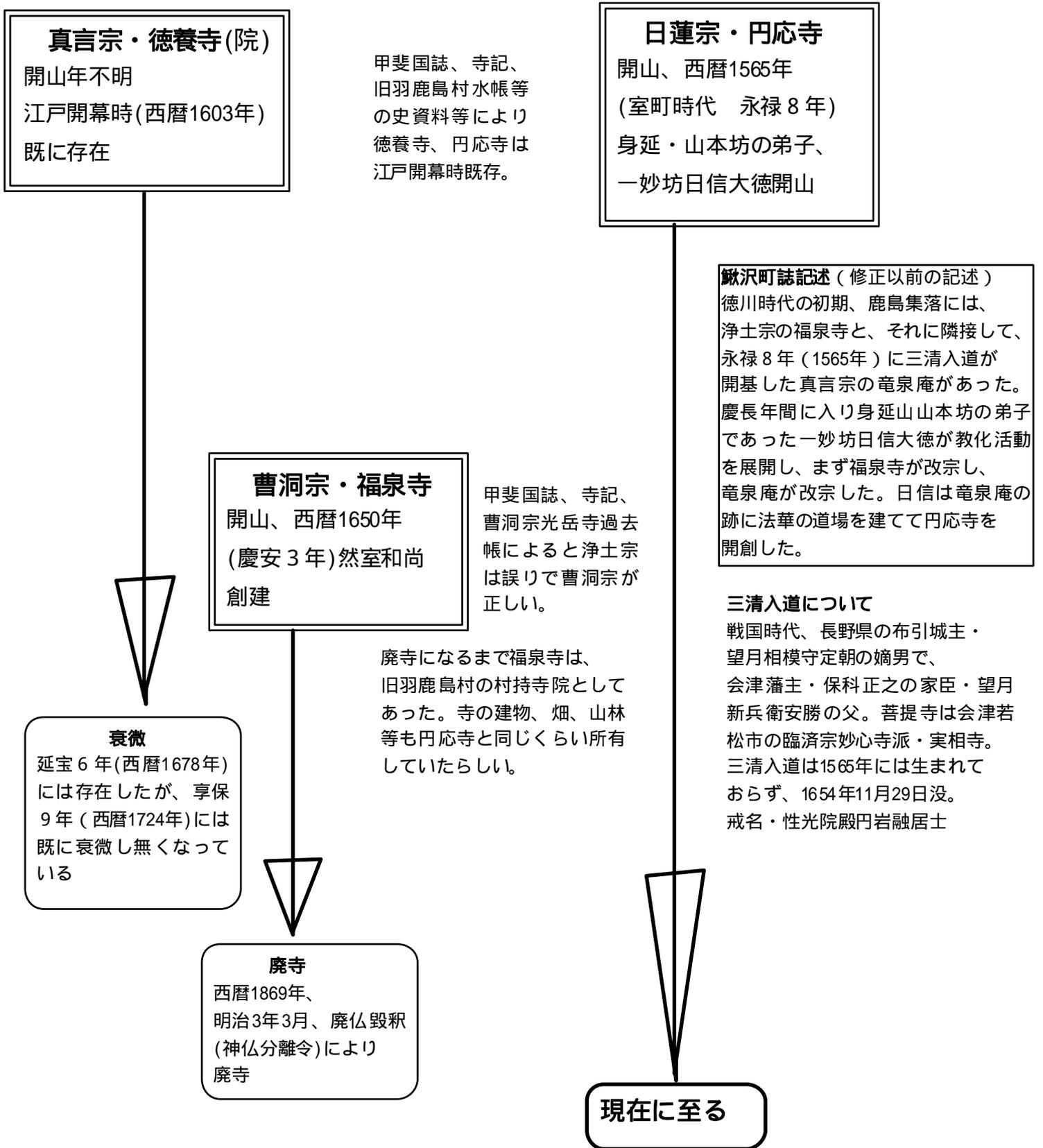


円応寺の沿革



保坂勲氏研究と平山優氏(山梨県史編纂室)による検証をもとに曾て鹿島に存在した寺院、並び現在ある寺院(円応寺)の沿革を概略図式化したものである、なおこの結論に至るには極めて少ない参照しうる古文書ではあるが「甲斐国史」「甲斐国社記・寺記」等、現在最も信憑性の高い史料を拠り所としている点が、以前のものと異なる。真言宗の本尊である不動明王(大日如来の化身)が円応寺の七面堂に祀られて居るのは徳養寺の名残かもしれません。